

テーマ:「生涯学習と次世代人づくりの循環の創出」～市の有意な人財の活動を「次世代につなげる」。学びとまちづくりの好循環を創る～
 ※キクロスカレッジ計画の第2ステージとして、カレッジの充実と生涯学習マイスターの活動促進に努める

1、事業計画策定の背景と目的

【背景】

- 社会の変化に伴う地域課題の表出
- VUCAの時代に求められる学習機会不足
- 学習成果が生かされる仕組みがない
- コロナ禍が生み出した社会課題

【目的】

- まちづくりリーダーや生涯学習指導者として専門性を高める学習機会の充実を図り、リーダーとなる有意な人財を育成する
- 市民への周知・啓発を充実し、生涯学習マイスターと諸活動の積極的なマッチングを行い、活動を促進する。その成果として「生涯学習と次世代人づくりの循環を創出する」

<スケジュール>

- 1、コース選定、カリキュラム編成 ⇒ 1～3月
- 2、募集要項作成、募集 ⇒ 4月～5月
- 3、キクロスカレッジ開講 ⇒ 6月～12月
- 4、生涯学習人財認証期間 ⇒ 1月～2月
- 5、まちづくり支援ネット運用 ⇒ 通年
- 6、フォローアップ研修(年間2回程度)

5、活動促進:フォローアップ研修

□スキルアップとネットワークづくり

【フォローアップ研修】

- ①開催時期
 - 修了後、3ヶ月及び1年を目処に開催
- ②研修の概要
 - 活動の振り返り⇒プレゼンによる活動報告等
 - 意見交換⇒ディスカッションによる評価、助言

2、体制整備:キクロスカレッジ設置要綱・運営要綱

□キクロスカレッジの推進体制とカリキュラム編成

【キクロスカレッジの推進体制】

- ①運営委員会:教育部幹部及び事務局員をもって構成する
- ②事務局:生涯学習課(事務局長・次長・主査・副査)に置く
- ③指導スタッフ
 - 大学等高等教育機関、包括協定企業 他
 - 地域人財(まちづくり活動家、地域おこし協力隊、市職員)

【キクロスカレッジカリキュラム・シラバス編成】

①概要

- 単年度28単位を基本とし、前期(基礎講座10単位)、後期(専門講座18単位)とする
- 専門コースは、「まちづくり研究科」、「生涯学習研究科」、「地域・学校連携研究科」の研究科毎にコースを設定する
- 修了認定された者に修了証を授与する

②カリキュラム概要

過程	分野	講座内容			時間
基礎講座	生涯学習・社会教育概論	○生涯学習・社会教育に関する基礎知識 ○社会の変化と地域課題 他			4
	指導者として 資質・能力	○リーダーシップ論 ○プレゼンテーション能力 ○ファシリテーション能力 他			6
専門講座	研究科 コース	まちづくり研究科	生涯学習研究科	地域・学校連携研究科	8
		防災花と緑	デジタルワールドF	スポーツ歴史・文化	
	専門的知識・技能	コース別に別途計画			8
	事業の企画・運営(実習)				10

3、活用準備:生涯学習人財認証制度要綱

□生涯学習人財認証制度の運用

【生涯学習人財認証制度】

- ①事務局:生涯学習課
- ②制度の趣旨
 - 一定の学習や活動を経た人財の能力と経験等を客観的に認証し、自信と誇りを持って地域活動に参画し、活性化を図ることを目的とする独自の仕組み
- ③登録要件
 - キクロスカレッジ修了生や豊かな経験、資格及び専門知識を有する者
 - 本制度の趣旨・目的に賛同する者
 - 市内に在住または勤務・通学している者
- ④審査会:生涯学習センター運営委員会をもって充てる
- ⑤認定・登録された者に「菊池市生涯学習マイスター登録者証」を交付する

4、活動ルート:まちづくり支援ネット要綱

□生涯学習マイスターと市民活動をマッチングする組織まちづくり支援ネットの運用

【まちづくり支援ネットの推進体制】

- ①事務局:生涯学習課
 - 当面は中央公民館が担当し、自走化に向けて段階的に取り組む
- ②活動ルートの概要
 - 市内各団体・機関、学校等へのマイスター情報の公開と利用案内及び促進
 - マイスターと申請団体等とのマッチング及び活動準備のサポート
 - 各マイスターの活動充実に向けたスキルアップのサポート 他